

施設

複式簿記・発生主義を導入すべき

公共施設等の財産管理

資産の有効活用の推進等を図る

宮本 均議員(公明党)

今後、建て替え需要や大規模修繕の必要性が発生し、財政負担への影響が懸念される。今後の公共施設の老朽化対策は、従来の延長線上ではない発想が必要である。インフラ会計の整備のため、複式簿記・発生主義を導入した行財政改革の継続を図るべきではないか。

答 公会計整備の目的は、財務状況の公表による透明性の向上、負債の適切な管理や遊休資産の把握による資産の有効活用の推進、負債比率や世代間負担比率の活用によるストックベースでの改善促進が挙げられる。今後はこれらのデータを利用して事務事業の改善、改革につなげていきたい。



いきいきセンター北方(北方老人いこいの家)

老人いこいの家

鈴木啓一議員(ガバナンス)

愛称の募集 どう取り組んだか いきいきセンターに決定 看板に付す

以前、老人いこいの家の施設利用者は、大変若々しく元気であることから、「老称を募集する」との答弁で人」という名称はそぐわな

い。施設のイメージアップとなる名称に変更すべきと質問したところ、利用登録者にアンケートを行い、愛称を募集するとの答弁で人」という名称はそぐわな

大柏出張所と大野公民館

中山幸紀議員(自由クラブ)

進展しない移転計画 今後の考え方は 地元の意見を聞き検討する

市北東部まちづくりの懸案事項でもある大柏出張所と併設する大野公民館の移転計画を、幾度となく質問

い。今後の移転計画の考え方と対応策を問う。
答 消防施設との一体型施設を検討したこともあるが、消防署の新設を先行することとし、平成22年度に着工予定である。移転については、検討事項が多岐にわたっているため、基本的方向について地元自治会や利用者の意見を聞き検討する。

駐輪場管理委託

金子貞作議員(日本共産党)

従業員数を仕様書に明記できないか 仕様書への記載を関係部署と協議

地下駐輪場管理業務委託は一般競争入札の結果、低入札での受託となった。予定価格の64%で落札した受

答 当該管理業務委託は請負契約のため、仕様書には業務内容、業務量等を記載し、受託者は仕様書に沿って業務を遂行することとなる。今後は、施設の安全性の確保、利用者へのサービスの維持、労働環境等に配慮し、業務委託仕様書にその内容を記述する等の方向で、関係部署と協議したい。

大町レクリエーションゾーン

堀越 優議員(公明党)

自然観察園の今後の管理保全是 自然環境と景観を残していく

大町レクリエーションゾーンの自然観察園は、市内でも希少な谷津田を保全する場である。緑地を守り

答 自然観察園では、野鳥の観察や自然散策などの利用も増え、小学生の体験学習にも活用されている。保全の要素としては、谷津田や斜面林だけでなく、水源である湧き水や梨畑等の保全も重要である。開設当初の谷津田の自然環境と景観を残すという理念に基づき、保全に努めていきたい。

清掃

シュレッダーごみの再利用

湯浅止子議員(社民・市民)

トイレトペーパー再生装置導入は ごみ資源化の効果的な手法等を研究

個人情報等の情報セキュリティを図るため、シュレッダーごみが、市役所や学校等で増加している。最近

答 再生装置は、群馬県桐生市役所の庁舎に設置されており、市民に見える所でリサイクルが行われ、啓発の効果は高いと考える。市内でも千葉商科大学などで古紙のリサイクルに取り組んでおり、今後は、これらの情報を収集し、ごみの資源化の効果的な手法等について研究していきたい。

点字ブロック

坂下しげき議員(ガバナンス)

誘導歩道の改善を 損傷個所も含め早急に対応

JR本八幡駅周辺等で視覚障がい者の人と同じ条件での歩行体験をしたが、点字ブロックで誘導される歩

は、特定経路と位置付け、平成13年度より、バリアフリー化の整備に取り組んでいる。現時点で未整備の地区は今後も整備を進め、点字ブロックが途切れている箇所については、同駅北口広場の歩道部など、駅周辺の特定経路を中心に確認作業を行い、損傷個所も含め早急に対応していきたい。

福祉

肢体不自由者リハビリ訓練事業

石原美佐子議員(市民連合)

平成22年4月開始 事業内容は 新たに巡回、居宅訪問訓練を実施

18歳以上の肢体不自由者リハビリ訓練のモデル事業を、平成20年11月から大洲防災公園に隣接する救急診

答 これまでは、理学療法士と作業療法士が、救急診療・ふれあいセンターを拠点に個別のリハビリ訓練を実施してきた。22年度は、リハビリ対象者へのアンケート結果等を基に、これまでの拠点来所型のリハビリ訓練に加え、障害者施設を巡回する訓練、居宅訪問訓練を実施する予定である。

高齢化が進む市営住宅

大場 諭議員(公明党)

生きる力を取り戻す取り組みを 地域のつながりを強めた支え合いで

大町市営住宅は、他の地域と比べて入居者の高齢化が急速に進んでいる。自治会等の運営も厳しく

答 市営住宅については入居者の相談に対し、職員が訪問したり、関係課に連絡するなど連携して支援している。また、地区社会福祉協議会等の協力により、市営住宅内で開始されたサロン活動により、近隣住民を含めた地域のつながりが強まり、様々な支え合いにつながれば良いと考えている。